

作業療法士らの指導でクリスマスリースを作る子供たち
＝日置市伊集院のゆすの里



伊集院の福祉施設

日置市伊集院の障害者支援施設「ゆすの里」で5月から毎月、職員が講師となった無料開放講座が開かれている。県内で唯一リハビリをメインサービスとする支援施設だけに、さまざまな専門分野の職員がおり、市内外問わずだけでも参加できるとあって、バラエティーに富んだ講座が好評だ。

リハビリ講座好評

腰痛予防や運動、工作…

参加は無料 地域に開放

トレーニングや腰痛予防、認定心理士によるストレス解消などをテーマに開いた。ほかに看護師や管理栄養士らも講師を務める。

当初は数人だった参加者が、最近30人前後に増加。効果を実感し、数回参加する高齢者もいるという。子供向けの月もあり、11月28日のクリスマスリース作りには小学生30人が参加。講師の作業療法士らの指導を受け、準備された材料を自由に使って作った。

ゆすの里は県社会福祉事業団が運営。障害のある人が希望する自立生活を送れるように、理学療法によるリハビリのほか、工作作業やパソコンなどさまざまな訓練に取り組んでいる。

5月に全面改築を終えたのを機に、地域に開かれた施設を目指す一環で講座を始めた。これまでに理学療法士による高齢者向けのト

(江田裕樹)